

第28回福岡県学校歯科保健研究大会質問への回答

令和5年11月18日(土)開催いたしました同大会にてご質問をいただきました。特別講演講師、一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 理事長 安井 利一 先生よりご回答いただいておりますので掲載させていただきます。

質問： 安井利一先生への質問です。レジュメの中で歯の保存可能時間についてありましたが、唾液に血液が混ざっていても大丈夫でしょうか。(歯が抜けたり、歯が折れたりするくらいの)口腔内の怪我は、児童が出血をしていることが多いので。

回答： 唾液に血液が混じっていても、特段の問題はないと考えられます。唾液を使用する場合には、唾液を容器に吐き出させて、そこに外傷歯を浸漬します。

誤飲や誤嚥を防止するため口の中には置かないことが基本となっています。歯根膜細胞の活性を保つには浸透圧やpHが大切なので、「歯の保存液」「牛乳」「唾液」等が推奨されております。ご質問ありがとうございました。

一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 理事長 安井 利一